3,離散構造

(1)

(1-1)
$$x_{115}$$
:偽, x_{214} :真, x_{841} :偽

(1-2)
$$n^2 \times n^2 \times n^2 = n^6$$

$$(1-3) \ \bigvee_{1 \le k \le 9} \ \chi_{11k}$$

$$(1-4) A(i,j) = \bigvee_{1 \le k \le n^2} x_{ijk}$$

$$(1-5) A = \bigwedge_{1 \le i \le n^2} \bigwedge_{1 \le j \le n^2} A(i,j)$$

$$(1-6) B = \bigwedge_{1 \le i \le n^2} \bigwedge_{1 \le j < l \le n^2} \bigwedge_{1 \le k \le n^2} (\neg x_{ijk} \lor \neg x_{ilk})$$

$$(1-7) C = \bigwedge_{1 \le j \le n^2} \bigwedge_{1 \le i < l \le n^2} \bigwedge_{1 \le k \le n^2} (\neg x_{ijk} \lor \neg x_{ljk})$$

(1-8)

 $(1-8-1) \ A_{ssign} = x_{131} \land x_{142} \land x_{211} \land x_{222} \land x_{234} \land x_{321} \land x_{332} \land x_{344} \land x_{443}$

(1-8-2) $A \land B \land C \land D \land A_{ssian}$ が導出原理で空節になることを示す.

(2)

(2-1)
$$R_3 = \{(1,1), (1,4), (2,2), (3,3)\}$$

(2-2)

 $S_n = S_{n+1}$ となる非負整数が存在しないとする.

 $S_{i+1} = S_i \cup R_{i+1} \downarrow \emptyset, \ S_{i+1} \supset S_i \text{ cbs}.$

ゆえに、 $S_i \not\supseteq R_{i+1}$ とならなければならないが、V は有限集合であるため、常に $S_i \not\supseteq R_{i+1}$ となることはない.

よって $S_n = S_{n+1}$ となる非負整数は存在する.

(2-3)

 vS_0v であり, $S_{i+1}\supseteq S_i$ であるため vS_nv である.故にvSvとなるため,反射的関係.uSvのとき, uS_nv かつ vS_nu である.すなわちvSuも満たすので,対称的関係.uSvかつvSwのとき, $(u,v)\in R_i$, $(v,w)\in R_j$ となるi,jが存在する.ゆえに $(u,w)\in R_{i+j}$ であるから uS_nw を満たす.同様に wS_nu となるので,uSwである.よって推移的関係.

以上より、反射、対称、推移が証明されたので、S は同値関係である.

(2-4) 閉路になっている.